

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 (9)	○思いや意向の把握 申し送りによって思いや意向を把握している状態であるため、全職員が統一した認識のもと支援していく。	入居者個人を知りその方にあった支援をする。	①「私の基本情報」と「ケアポイント」の整備 ②全職員が上記の書類のもと各入居者を知り対応する。 ③認知症ケアの勉強会を定期的実施する。	12ヶ月
2	33 (12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 グループホームにおいては、終末期のケアは少ないが、今後ありうることなので、知識を得る必要がある。	全職員が「看取りケア」を学び、重度化や終末期に対応できる環境づくり	①法人のマニュアルに「ターミナルケア」の項目があり、再確認し、周知する。 ②グループホームでのサービス手順書の確認と周知 ③看護師に「看取りケア」の研修会を依頼する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。